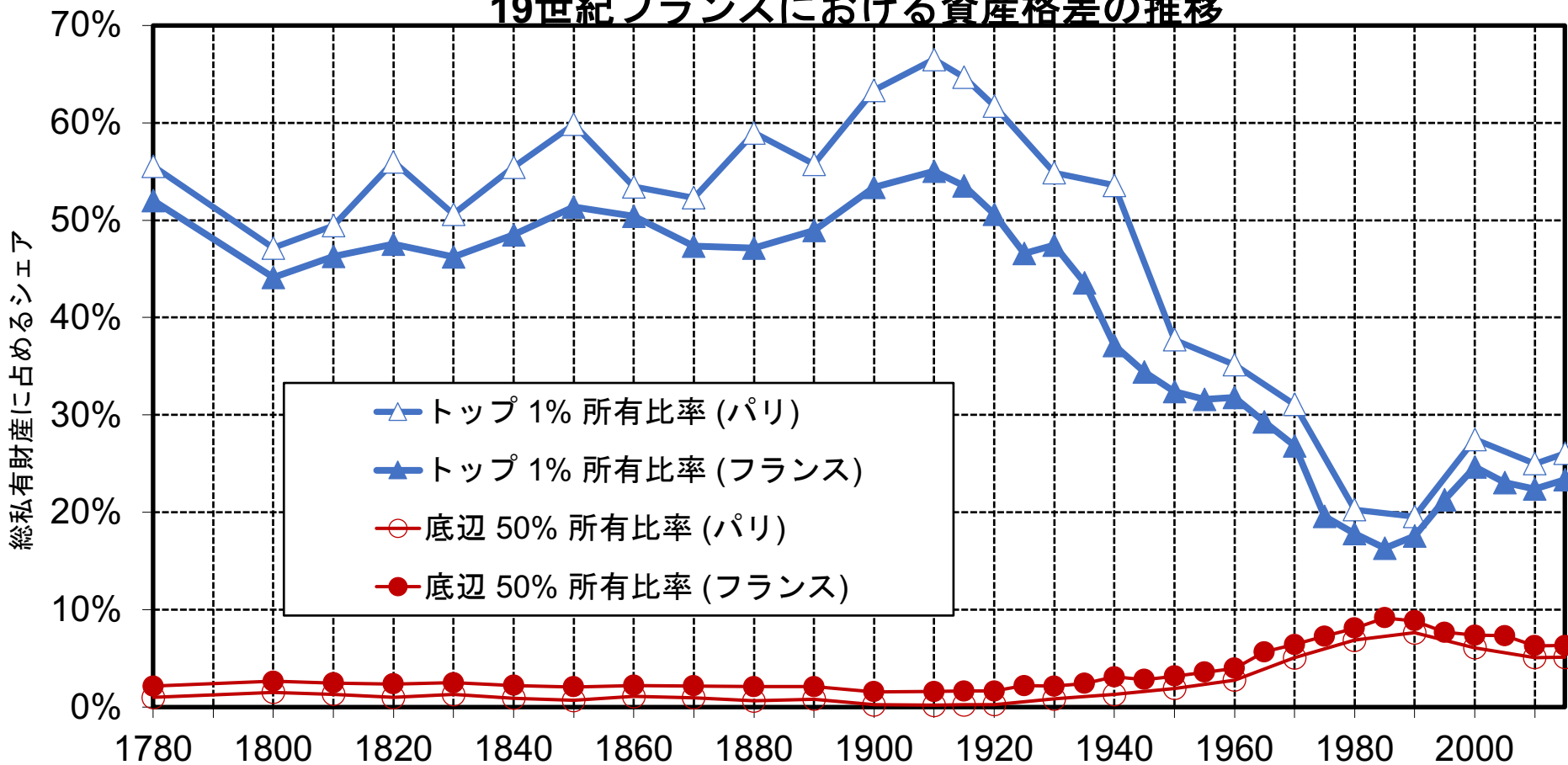


図 4-1 フランス革命の失敗:
19世紀フランスにおける資産格差の推移



解釈. パリでは金持ちトップ 1% が 1910年には総私有財産 (全資産合計: 不動産、金融資産、企業等) の 67% ほどを所有していたが、1810年にはそれが 49%、1780年には 55% だった。フランス革命でちょっと下がってから、19世紀を通じて第一次世界大戦まで、財産の集中はフランスでかえって上がった (特にパリでは顕著だった)。長期的には、格差低下は1789年の革命後ではなく、両世界大戦 (1914-1945) の後で生じた。 出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology 参照。